

平成27年度第1回食育推進委員会 議事録

日 時：平成27年7月27日 午後1時30分から午後2時35分

場 所：市役所本庁舎4階第3会議室

出席者：委員8名 関係課4名 事務局4名

〔委員〕安達内美子（委員長）、岡村吏（農協）、徳川秀城（商工会）、川本範子、谷本歩、中野陽子、内藤香澄、岩本直美

〔関係課〕榊原裕美（こども課）、木村文香（健康課）、大滝陽子（学校教育課）、松田雅子（学校給食センター）

〔事務局〕可児嗣久（産業振興課長）、蟹江健二（同主幹）、村瀬厚（同課長補佐）、浅井清（同係長）

事務局 平成27年度の第1回食育推進委員会を始めたいと思います。産業振興課の村瀬と申します。委員8名中全員出席ということで要綱に従いまして、半数以上の出席要件を満たしておりますので会議が成立します。

まず、年度が変わりましたので異動のありました職員の紹介をさせていただきますと思います。

事務局 （新任者自己紹介）

事務局 ありがとうございます。その他のメンバー変更はありませんので、会を進めさせていただきます。

続きまして、委員長よりご挨拶いただきたいと思いますので、安達委員長、よろしくをお願いします。

委員長 本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。昨年度は委員会では推進計画の概要版また、啓発にもご意見いただきましてありがとうございます。本日は、本年度の取り組みをご検討いただくため意見を賜りたいと思います。この委員会のいいところは、自由に意見を言い合えるところだと思いますので、本日もよろしく願いいたします。

事務局 ありがとうございます。ではこれより議題に入りますが、本委員会の議長に関しては、要綱第6条に定められており、委員長とされていますので、ここからは安達委員長に議事進行をお願いしたいと思います。

委員長 さっそくですが、お手元のレジメにしたがって進めたいと思います。

議題 2. 本年度食育推進計画の周知啓発について、まずは事務局より説明をお願いします。

事務局 まず、食育推進計画ですが、周知啓発についてはまだ浸透していないのではないかと多くの方からご意見を頂いております。産業振興課としては、昨年 11 月のエコフェスタにおいて食育コーナーを設けて名古屋学芸大学の方と連携して食育啓発を行い、来場者にアンケートを実施しました。その結果としては、地産地消への関心度の低さがうかがえましたので、日進産のお米や野菜などを使った日進のお弁当レシピですとか、定食などの提案コンテストなどあいち尾東農協さんの協力もいただきながら、市全体の食育に対する周知につなげたいと思います。産業振興課としてはそのように進めたいと思っております。

委員長 今の説明の中でご意見ご質問などがございましたら、お願いいたします。
第 2 次食育推進計画概要版をどのように配布していますか？数はどれくらいですか？

事務局 概要版については 900 部を作成し、在庫が 500 部ぐらいあると思っておりますので、本年度にまた増刷することは可能かと思っております。また、何かに活用するということはできると思うのですが、今残っているもので、どこかに配布して啓発することはできると思っております。その配布する対象に、もしよいご意見があればこちらも対応できるかと思っております。

委員長 どこかで配布してほしいと言え、それは可能ですか？

事務局 後ほど各担当から計画等の話がある中で、こういうところで配布してもらいたいなどの意見が出るかと思っておりますが、例えば学校関係等で学校行事、PTA に関するもの、家庭推進委員会など、そういった行事でもいいのではないのでしょうか。ランチョンマットの啓発品も合わせてお配りできると思っておりますので、そういった情報を頂ければよいと思っております。

委員 学校では、給食の試食会がありますので、参加された親御さんにお配りするの
がいいかと思っております。家庭推進委員会では、各学校で防災イベントの際にお配りするの
がいいのではないのでしょうか？

事務局 ありがとうございます。給食試食会はこの学校でもやっていますか？

給食センター 小学校では全小学校と中学校では日進中学校で行いますが、今年度の日進中学校と香久山小学校の試食会は終了しました。

事務局 まだこれから試食会があるところだと思います。まだ家庭推進委員会もあると思いますので、そこでも配布できるとよいです。

委員 西学区は11月ぐらいにあります。各地域のお祭りはこれからだと思いますが、来場者が1000人近くになるので、ブースに置くなどすれば可能かと思えます。

委員 給食試食会では参加される方が限られますし、多くは低学年の親御さんが参加されますので500部の在庫なら配布が可能かと思えます。

事務局 全体には行き届かないボリュームなので、どこかに絞らせていただくことになるかと思えますが、タイミングがいいところをみて今年はここにしようとか、その辺で計画を立てていきます。

委員長 概要版が500部とランチョンマットがどのくらいありますか？

事務局 ランチョンマットが約800枚あります。

委員 市からの回覧板が回ってくるのですが、老人会や、うちの地域ですとボランティア登録団体があるのですが、ほっとカフェのようなものをされていて小さいお子さんを連れのお母さんグループ、ご老人のグループにお配りしてお話していただくのも有効かと思えます。

事務局 全部に配布するのは在庫等で難しいと思うので、どこに配布するのがよいのかを絞り込みたいと思います。通常回覧板ですと、興味のない方は見ないということになりがちなので、具体的に絞っていったらよいと思います。

委員 広報には福祉会館等に幼児が集まって遊ぶサークル活動が掲載されています。月に2回ほどの開催になっていると思うのですが、未就園児にはいいのではないかと思います。この時期は子供がご飯を食べなかつたりする時期だと思うので、啓発にはいいのではないかと思います。

事務局 ありがとうございます。

委員長 いろいろな案が出ましたが、優先順位を決めて配布されるといいかと思ひますし、大学生であれば、私からも 180 部ほどは配れますので枠に入れていただければいいかと思ひます。

委員 学校の教室に 1 枚、貼ってあるといいのかなとも思ひます。子供たちがこれを見て給食のバランスが合致していれば、自分のノートなどにメモをしてもらって家でこんなことを教えてもらったよと家で話してもらえればよいと思ひます。各家庭への配布になるとコストもかかってしまうので、子供たちに興味をもってもらえるように各教室に貼っていただき、先生から生徒にも声かけをして、みんなに周知してもらうことで、そこから家庭へと広がっていけばいいのではないかと思ひます。

委員長 給食センターではどうですか？活用できそうですか？

給食センター 学校の掲示板が限られていますので、できるかどうかはわかりませんが、意見を聞いていてとてもいい案だと思ひます。

委員 先生が興味をもつ、給食を早く食べられることや好き嫌ひなく食べられることだけでなく、バランスよく食べることが大事であるということも話していただけたらよいと思ひます。集団で食べると子供たちも食べ物に興味を持ちやすいので、各家庭で収まってしまうと統一感がない気がします。給食という一つの物を大勢のみんなで食べるというのがいいのではないかと思ひます。

給食センター クラスによっては先生がお茶碗は左に置くのですよと指導されることもあるので、そういうことに活用していただければよいと思ひます。

事務局 また、各学校に出向いた際にお話をさせていただいて、活用していただけると助かります。ぜひお願いします。

こども課 配布部数に限りがあると思ひますが、可愛いイラストが入っていますし、保育園でも給食の前にこれを使って説明をしたり、年長クラスになればずいぶん話も分かると思ひますので、年長クラス対象に配るか掲示するかして使いたいと思ひます。優先順位等もあると思ひますが、データがあればこちらで印刷もできますので、お願いします。

委員長 担当部局の中で活用する方法はあると思いますが、優先順位を事務局の方で決めていただければよいと思います。

続きまして、議題 3. 今後の取り組みについて、事務局よりお願いします。

事務局 今後の取り組みについてですが、これから市では色々な行事があります。9月20日に「にっしん夢まつり」、11月8日に「産業まつり」、11月下旬に「エコフェスタ」、12月5日に愛知万博会場で愛知県市町村対抗駅伝競走大会「愛知ふるさと市」への出展などがありますので、そういったところに参加してブースを出すことができれば食育推進計画の周知をしていきたいと考えております。

また、日進アグリスクールという農学校がございますので、開講時のガイダンスのときに食育推進計画についての説明をして、啓発に努めていきたいと思いません。

もし、可能であれば各担当部署で少しお話をいただくとありがたいのですが、今年度以降に何か新しいことを行うことがあれば、お願いします。

農協 私どもの施設で、見学をやってはどうかと思います。来年度以降の実施になるかと思いますが、例えば、田んぼの米をどう作っているか、どう育てているか一度見ていただき、その先には新しい施設を見ていただくといいのではと思います。意外に種から苗までを見ていただくことはないと思うので、そういったこともいいのではないかと思います。

商工会 飲食業の方を中心に、日進市でできたものを地産地消という形で、メニューに一品でも多く取り入れていただいて、推奨していく。1000人近く会員さんがみえるので、中には非常に力を入れてみえる方もみえるので、その後押しになれるような指導、また金融的な支援をしていくという使命でやっていくというのが、我々の経営的な取り組みです。地産地消のメニューを扱っていただく店舗を増やしていくということをやっていきます。

健康課 普段から健診等でバランスの良い食事の情報を提供しているところですが、今年度新たにというと愛知県が野菜の摂取量が少ないということで、まずそれを知らない方が多いのではないかと考えています。ですから、知らないという情報提供をさせていただこうと考えています。

なかなか野菜が食べられないということの理由の一つとして、身近に野菜がないということと、野菜を使う技術がなかなかないので敬遠しがちというのを、以前、名古屋学芸大学の先生が保育園アンケートをしていただいたので、レンジを使った簡単なレシピ紹介プラス旬の野菜を使ったレシピを、1歳半児健診、3歳

児健診のときに保護者の方にお渡ししています。また、お渡しするだけだとインパクトが薄いので、渡す際に保健師のほうから、「野菜を食べていますか？」と一言声をかけています。今年度末まで続ける予定です。

こうした機会に配布物をお配りすることもできますが、現在、市の出生数が年間 1000 人を超えますので、配布数が 1000 部以上ないと皆さんに行き渡らない。もしそれでもよろしければお声かけください。

もう一つ、いきいき健康プランにしん 21 のからみで「食育推進協力店」も増やしていこうということで元々愛知県の事業で、担当が保健所なのですが、応援団を増やすことにも協力していこうと思っています。

委員長 こちらは、農協や商工会と上手くつながるといいと思います。

こども課 お配りした資料の平成 27 年度日進市立保育園の概要があると思います。こちらは昨年度とあまり変わったことはなくて、今年度も食育を推進していく予定をしています、給食の展示をしている園としていない園がありますので、写真でもいいので全園に展示して保護者の方に働きかけをしていきたいと思っています。また、近隣の保育園の栄養士が集まる栄養士会というのがあります。昨年度から 2 年間かけて災害時の食事準備ガイドという、災害が起きたときの為に事前に準備するものであったり、連絡先が書いてあります。離乳食のお子さんのレシピとか準備をするものを作りましたので、保育園に配布したり、保健センターにも配っていただいたりしています。

昨年、保育園のほうでアンケートをとりましたので、今年度はそれに基づいて朝食のレシピ、野菜を採れるようなレシピを保護者向けに配布を予定しています。保育園の乳幼児向けになりますが、アンケートで保護者の方が食べてない方があったので、保護者の方にも食べていただけるような啓発資料にしたいと考えています。

委員長 第 2 ステージが上手く食育につながっていくといいと思います。

給食センター 日本の食文化を知ろうということで、シリーズで行っていますが、日本の食文化に親しんでもらって、良さを見直してもらうことで食育推進につながっていけばよいと思って、このテーマを選びました。日本食にはこんないいことがあるよ、自分たちの食生活に活かしていこうということを行っていますので、ご覧ください。

それと、昨年度と今年度も行っているのですが、朝ごはんを食べましょうと指導した結果として、大体のご家庭で朝ごはんは食べています。しかし、主食・主

菜・副菜の組み合わせを朝から食べているご家庭が少ないという結果です。ですが、授業で話を聞いて、これではいけないと理解してくれたようで、授業後のアンケートでは良い結果が出ています。5年生はさらに1ヶ月後、2ヶ月後と続けたものですから、どんどんいい結果になっています。目覚めればできるかという感じなので、これからもアピールしていこうかなと思っています。

やはり、ご存じない方が多いのだと思います。意識が変わりましたか？という問いで、ほとんどの方が変わったという方の割合が高いので、知らないことで食べていないなら、こんなもったいないことはないので、今年度も小学校3年生と5年生それから中学校1年生にはアピールしていこうと思っています。ですが、ご家庭によっては難しい家庭もあって、そこはなかなか救えないところもあるので目標値がなかなか高いところに設定されてあるので（小学校低学年100%）ここを網羅するのは厳しいと思っています。

それから、地産地消の認知です。日進市産の食材の使用の割合の20%目標は厳しいものがありまして、さらに今、物価が高騰しております。地産地消を進めることで、今までは市からの補填で小学校に6円、中学校が7円の補填がありましたが、減額されてしまいまして、小学校・中学校も3円に半減してしまいました。そのなかで物価も上がっていますので、厳しい状況ですが努力はしたいと思っています。地産地消に取り組んでいますよということをアピールしていきたいと思っています。

学教課 特に目新しいことはないのですが、これまでどおり各学校で作物の栽培ですとか、農業体験をされていると思いますので、今後も続けていきたいと思っています。

委員長 最後に私から小学校高学年4年生・5年生・6年生対象に1食の食事作りの勉強会を開こうかと思っています。7月31日と8月19日に計画していたのですが、人が集まらずキャンセルになってしまったので、9月12日に小学生20人ぐらいを集めて食事作りの勉強会をやろうかと思うので、ご参加いただけたらよいと思います。保護者の方の参加もできますので、お子さんと一緒に参加いただけます。1食の食事作りを子供たちに覚えてもらって、家庭に広めてもらい、また地域に広げてもらえるといいなと考えていますので、お願いします。当初、7月8月は参加費500円の予定でしたが、今回は無料になりますので、参加しやすい状況になっていますので皆さんに声をかけていただきたいと思います。

健康課 8月26日に食生活改善推進委員のみなさんが、食育体験会という小学生向けの調理実習を行うので、チラシをいただければお渡しできます。

委員長 1食というのは前にお話した「3・1・2 弁当箱法」という、お弁当サイズなら子供からお年寄りまで誰でも同じルールでやれますよと料理もルールの範囲内なら自分の好きなものを詰めてもらう、自分らしさを出していただけたら、1食の適量を学習してもらうようにします。

委員 無料で材料費が賄えるのですか。

委員長 料理のほうは無料で用意させてもらいますので、弁当箱に詰めることが基本で、変わった調理をしてもらう必要はないので、自分の好きな料理を詰めてもらえれば、自分の体にも心にもピッタリ、ご飯も半分入るので食事の自給率も良く日進市さんにもピッタリかと思います。皆さんいろいろ考えていただいて、各部署で連携していけたらいいかなと思います。

最後に、議題. 4 その他ですが、事務局からお願いします。

事務局 昨年度、啓発品としてランチョンマットや概要版を作ったのですが、今年も何か作って普及啓発をしようと思います。啓発品としてあったらよい提案があれば、率直な意見を教えていただけると我々もそれを参考にして考えていきたいと思っていますので、何か良いお知恵を頂けないでしょうか？

委員長 ものを作るのはそれなりにお金がかかるかと思いますが、先程、出たようにコンテストはお金がかかるのでしょうか？

事務局 コンテストに関しては、まだどのように進めていくかは決まっていないのですが、今後検討したいと考えます。我々単独ではできないので、皆さんにご協力いただくことはあると思います。新たに計画を推進していく、周知していくのが一番大事なことと思うので、学校の先生にアンケートをとった際にもこの計画を知らないという方もみえたという話もあるので、学校にもアクションをおこしていかなければいけないと思うのですが、その上で啓発品や教材、先生が何か使うもの、例えば先ほど委員長が作られた冊子を紙芝居にしてみるとか、何かよい啓発品はないでしょうか。

委員 下敷きとかでもよいですか？

事務局 例えば下敷きであればデザイン的なものをどうすればいいかといったことが問題になります。

委員 低学年ならこれよりもっと具体的なもの、例えばもう少し家庭科的なものの方が理解しやすくいいかなと思います。

事務局 最近、子どもたちは下敷を使用しますか？

委員 使用します。小学生はよく割ってきて何枚も買うので、紙にコーティングされたものだと割れないし、両面を見ることができるし、日進の食材はこんなものがありますとか、食べるとこんなにかっこいいものがありますとか、給食の時間にも見ることができます。学校に置いておくのもよいです。

事務局 他にはどうですか？

委員 私にはティッシュしか思いつかなかったです。
ティッシュであれば、ゆめまつりや産業まつりでお配りすると、年齢を問わず渡せます。

委員 その他としては、うちわもあります。お祭りのときにこの食育チェックを載せて、正面に食育、裏でチェックをしてもらって扇ぎながらお祭りを楽しんでいただくのもいいかなと思います。

給食センター 先ほどの紙芝居の件ですが、冊子は北小学校の図書室にあります。しかし、あまり読まれていないようです。せっかくいい本なのですが、本だと一人しか見られない。大きめの紙芝居だと読み聞かせの時間に、より活用してもらえないかと思います。クラス全員で見ることができます。

事務局 学校で作る予定はないですか？

委員長 今から作るとなかなかタイミング的に難しいかと思います。

委員 担任の先生がおっしゃったのですが、確か「ぶたのいる教室」という映画ですが、3時間ほどあるそうで学校で見せるのは難しいのですが、それを見ると給食も残さず食べられると聞いたので、もしそのような企画があれば、よいです。以前に市民会館で年に1回鑑賞会があった気がします。そういったもので啓発していればどうかと思いました。

委員長 それを観てみんなで話し合ったのでしょうか？

委員 保護者会で少し話ただけですが、それをみると食のありがたみを感じるのでしょうか。

事務局 それは対象年齢が低くても観ることができるのでしょうか？

委員 観られるのでしょうか。

委員長 今日はここで決めるのは難しいと思います。

事務局 いろいろな案を出していただいて、できそうな候補を選びたいと思います。

委員 この本のデータはどこにありますか。

委員長 データは市役所にあると思います。

事務局 おそらく、市民協働課が持っていると思います。
では、これまでに頂いた意見で少し考えたいと思います。

委員長 私はウェットティッシュもいいかと思います。小さい子供がいるとよく使用するのでずいぶん助かります。

事務局 こういう機会なのでお聞きしたいのですが、日進の特産品を作れないかと考えております。前回、JAさんにプチヴェール酢を持ってきていただいたのですが、そういうものを開発していけないかと考えています。なかなか目立った農産物がない中でこんなのがあったらいいのではないかというようなものはないでしょうか？

委員 個人的な意見として、みなさんにご存じないかと思うのですが、黒瓜です。黒瓜はかりもりと違ってジューシーで甘みがあって、やわらかいのでお年寄りにも食べやすいです。それをビール漬けにしたり味噌漬けにしたりすると、すぐに食べられるので。面倒な方は、しばらく熟すとメロンのようになってお醤油をつけても食べてもよいです。

事務局 農協では、この黒瓜は知っていますか？

農協 黒瓜は知っていますが、まだ作られているのは非常に少ないと思います。
栽培は、これからですか？

委員 もう終わりました。

農協 産地直売所などではほとんど見かけないです。以前は見たことがあるのですが、今はほとんど見ないですね。

委員長 プチヴェールというのは日進市？尾東地区全体のものですか？

農協 もともと静岡県が発祥です。それを尾張旭市で作っていたものを産地化しようかという事で始めました。

委員長 産地化しようというのはどういうことがきっかけですか？

農協 一定の基準を満たす産地に野菜指定産地というものがありますが、尾張東部・豊明東部は、はくさいの指定産地でしたが、今では生産量が少なくなってしまいました。あと、いちじくは、今はこのあたりで産地というのはなくなっています。そこで、JA あいち尾東が平成 22 年度にプチヴェール部会を設立して特産化に取り組むようになりました。また、指定産地には、面積要件、出荷量というのがあったと思います。

委員長 こちらのたくさん作りたいと思っても農家がついてこないといけないのですね。

農協 そうですね。あと作りやすさや単価や共同出荷で規格を統一しないとけないといったことも減っている理由ではないでしょうか。

事務局 もし何かあれば遠慮なく連絡をください。

あと、食育の啓発について、現在不足していると感じています。市産業振興課の食育ホームページを見るには時間がかかりますが、みなさんと連携を取ってわかりやすいものにしていきたいと思うので、関係各課の皆さんには情報提供をいただきたいと思っております。

委員のみなさんも地域でこのような活動に取り組んでいます、又は取り組みました、というような写真などがあればいただきたいのでお願いします。

委員長 最初にもお話したかと思いますが、9月で任期が満了となっておりますのその点はどうか。

事務局 2年間の任期ということでこの9月末で任期終了ですが、今後も推進していく必要がありますので、関係各課と進め方などを調整させていただいてまとめ次第、また新しく委員会を再開させていただきたいと思っております。その際にはまた委員になっていただければと思っております。事務局からは以上です。

委員長 委員が終わってしまっても情報はホームページなどで随時、見られると思います。今回で終了ということになるのですが、国のほうでは第3次食育計画が作られています。また5年後になると思うのですが、国の第3次計画なんかもチェックさせていただいて市のほうにご協力いただけたらと思います。2年間という短い間でしたが、みなさんとともに進めてこられたことはとても良かったと思います。毎回会議に来るのがとても楽しみで、私も勉強になりました。これから、より市民の方にこの食育が浸透していけるようにがんばりたいと思います。

事務局 最後に何かあれば、いかがでしょうか。

委員長 2年間ありがとうございました。

委員 ありがとうございました。

委員長 以上をもちまして、平成27年度第1回食育推進委員会を終わります。